

空き家を活用した共同住宅づくり

阪神大震災直後、家を失った人が孤立せず安心して暮らせる住宅として全国初のグループハウスができて19年になります。このハウスをつくり運営してきた中村大蔵さんをお呼びしてくわしくお話を伺います。

中村さん曰く、グループハウスは「高齢者の自律協働居住空間」、普通に近い生活（生活リハビリ）で最後まで自分らしく過ごせるそうです。空家が増える中、私たちは個人宅でも福祉施設でもないグループハウスを常総市にも作ろうとしています。一緒に考えてみませんか。

▼日時:6月28日(火)10:00~15:00

午前:講演会 午後:常総でのハウス作りの説明会

▼参加費:無料

▼場所:生涯学習センター2階創作室 常総市水海道天満町4684

講師 阪神医療生活協同組合 理事長 中村大蔵さん



1945年徳島生まれ
大学卒業後、阪神医療生協
小中島診療所の地域相談員として勤務した後、
社会福祉法人阪神協同福祉会の設立にかかわる。
昭和63年から特別養護老人ホーム「園田苑」施設長。
阪神淡路大震災後、ケア付仮設住宅や「グループハウス尼崎」、
宅老所などを運営。
活動範囲は広く、ハンセン病関係、ホームレス支援、
東アジアの高齢者福祉、貧困問題など。

主催:たすけあいセンター「JUNTOS(ジュントス)」

常総市水海道森下町4455-2

茨城NPOセンター・コモンズ常総事務所内

TEL:0297-44-4281(担当:安永)